



3-340VLA-00-01
日本ペイント株式会社
製品使用説明書

クリンカラーWエポ速乾プライマー
水性 2 液速乾形エポキシ樹脂床用下塗り塗料

□ 特 長

- ・水性なので、溶剤中毒や火災の心配がありません。
- ・水性でありながら優れた浸透力があり、上塗りの付着性を向上します。
- ・ほとんどの旧塗膜に対して優れた付着性を持ちます。
- ・硬化剤には夏用と冬用がございます。使用目安は気温15 以上：夏用、気温5 以上15 以下：冬用になります。

□ 塗 料 性 状

塗 料 液 (主 剤)		硬 化 剤				
色		乳白色		淡黄色		
密度(g/cm ³)(23)		1.20 (混合液)				
光 沢		-				
引 火 点		-		-		
発 火 点		436 (参考値)		-		
消防法 表 示	化 学 名	-		-		
	危険物区分	-		-		
	危険物等級	- (-)		- (-)		
有 機 溶 剤 区 分		なし		なし		
毒 劇 物 表 示		-		-		
有 害 物 表 示		エポキシ樹脂		変性脂肪族ポリアミン		
ホルムアルデヒド	登録(認証)番号	N02339				
放散等級	区 分 表 示	F				
問 合 せ 先		http://www.toryo.or.jp/				
国 連 / 指 針 番 号		3082/171		-		
環 境 性 能	クロル [®] リス	配合せず	ホルムアルデヒド ⁺	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラメチル	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイジン	配合せず	アセトアルデヒド ⁺	配合せず
	フェノールカルブ ⁺	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		2.5%				

□ 塗 装 基 準

下 地 調 整 :
混 合 :
荷 姿 :
ポットライフ :
希 釈 剤 :
塗 装 方 法 :

- ・素地および下地調整方法については、クリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
- ・2 液形のため、「塗料液(主剤)：硬化剤 = 1 : 1 (重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- ・12kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=6kg:6kg)、3kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=1.5kg:1.5kg)
- ・2時間(10)、2時間(23)、1時間(30)
- ・無希釈

塗 装 方 法	中毛ローラー塗り
希 釈 率	-
使 用 量	0.10 ~ 0.16kg/m ² /回

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾 燥 時 間 :

	5 ~ 10	23	30
指 触 乾 燥	-	-	-
塗 り 重 ね 乾 燥	16時間以上72時間以内	4時間以上48時間以内	3時間以上48時間以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- ・ニッペ クリンカラーW[®] スト、クリンカラーW[®] トッパ[®] 以外のニッペ クリンカラー上塗り商品は、6時間以上72時間以内/5 ~ 10 で塗装可能です。

□ 注 意 事 項

- ・主剤と硬化剤の混合割合を必ず守り、ポットライフ以内に使用してください。（硬化剤の過不足やポットライフ以降の使用は、成分の沈殿発生、付着性、造膜性、硬化性、乾燥性の低下など、塗膜性能や仕上がり外観に悪影響を及ぼします。）
- ・塗装場所の気温が5 未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分に行い十分に乾燥後、塗装してください。
- ・旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- ・旧塗膜がウレタン系の場合は、ポリシャー・サンダーで表面を目粗ししてください。
- ・強化コンクリート、カラーコンクリート、フェロコン、ち密に仕上がった一般コンクリート・モルタル面へ施工の際は付着性向上のため、研削機を用いて下地表面を物理的に目粗ししてください。または、研磨紙(#40-80)で表面を目粗した上で、専用のプライマー（クリンカラーパワフルプライマーに強化C添加液を加えたもの、またはクリンカラーWエボ速乾プライマー）をご利用ください。
- ・常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- ・常時水がかかる可能性がある場所、または下から（塗膜の裏面から）水分が廻る可能性がある場所には、ニッペクリンカラーEレジモルクリヤー（新）を使用した塗装仕様で塗装してください。
- ・下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- ・下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜にはがれがある場合には、あらかじめエボキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
- ・塗り替え時で、旧塗膜が弾性の場合は使用しないでください。
- ・旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- ・シンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回（2～3回）塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- ・施工に関しての詳細な注意事項はクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
- ・ニッペ クリンカラーWエボ速乾プライマーの硬化剤内には、顔料が配合されているため、あらかじめ電動かくはん機で内容物が均等になるようにかくはんしてから主剤と混合してください。また小分けして使用の場合は必ずはかりを用いて計量、混合してください。
- ・本品の上には2液形塗料を塗装できますが、塗り替え用のリフティング（縮み）防止には使用できません。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ・Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。